

令和6年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和6年10月22日（火）、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和6年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された従業員173名に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国歌吹奏から始まり、主催者挨拶として日本側を代表して江原康雄九州防衛局長から「従業員の皆様方の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表すとともに、苦楽を共にしてこられた職場、ご家族の方々の温かいご支援に深く感謝いたします。これからも日々の活動や交流を通じ、日米両国の架け橋として、更にご尽力賜りますようお願い申し上げます。」と述べられ、また、米側を代表してマイケル・フォンテーン米海軍佐世保基地司令官から「皆さんの揺るぎない奉仕は、米海軍と日本政府、日本の自衛隊、佐世保市、西海市、およびこのコミュニティの友人や隣人との絆を強化しました。また、皆さんの日々の努力は、日本を共同で防衛し、自由で開かれたインド太平洋を維持するという我々の使命に直接貢献しています。皆さんの奉仕がそれぞれにとって大きな名誉となり、ご家族にとっても大きな誇りの源となることを願っています。」との式辞が述べられました。

続いて、勤続年数40年、30年、20年、10年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、米海軍日本管区司令部消防佐世保の金高 靖二氏が、「私たちは基地従業員として10年、20年、30年そして40年と長い間、健康で無事に働くことができました。これもひとえに日米両国の友好的な関係を築いていただいた関係者の皆様、また職場での温かいサポートをしてくださいました上司の方々や仲間たち、そして何よりも私達を支えてくれた家族のおかげだと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」との答辞が述べられ、長崎県をはじめとする来賓の方々や永年勤続者の所属する職場の上司、また、ご家族の参列の下、和やかな雰囲気の中、開催することが出来ました。



▲江原康雄九州防衛局長の式辞



▲フォンテーン米海軍佐世保基地司令官の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞